

# 長野の林業

令和2年5月10日発行  
長野の林業編集委員会

**No.364**

もくじ



就任のご挨拶	2
<b>特集</b> なっとく！ 森林経営管理制度	3
令和2年度 中部森林管理局の取組ポイント	4
お知らせ	山地災害に備える……
	山地災害防止キャンペーン5月20日～6月30日……6
県森連だより	7
長野県の木材市況	8



タラノメ



コシアブラ



ウド

山菜として人気の高いタラノメ、コシアブラ、ウドはウコギ科に属し同じ仲間です。ウコギ科には他にもウコギ、ハリギリ、タカノツメなど美味しい山菜が沢山あります。

# 新任ごあいさつ

長野県林業大学校

校長 丸山 勝規

この度、四月一日付けで林業大学校校長を拝命いたしました。教育分野の職場は初めてであり、志を持った若者と日々接することに身が引き締まる思いで着任いたしました。

さて、当校では、昭和五十四年（一九七九年）の開校以来、「①大  
学や試験研究機関との連携のもとに専門的な知識や技術を高め、②  
一般教養の習得や寮生活を通じて指導者となるための人間形成を



図り、③実験や実習を重視して

新時代の社会の要請に対応し得る人材を養成すること」を教育方針に掲げ、本年三月に卒業した四十期生までに、公務員や森林組合、木材関連会社などへ七百三十八名の卒業生を送り出してきました。

近年、国の森林・林業政策が大きく転換され、市町村が主体となり森林の経営管理を図る森林経営管理制度や、国民全体で

等しく負担を分かち合い森林整備を進めるための森林環境税が創設され、自然条件等が整った森林は林業的利用を積極的に展開するとともに、条件が整わない森林は自然力を生かした針広混交林へ誘導する等、多様で健全な森林の整備を目指すこととしています。

また、世界では持続可能な開発目標や国連気候変動枠組条約による地球温暖化対策等に取り組んでおり、我が国の森林・林業・木材産業の貢献が期待されています。

このような時代の変化から今後は、森林・林業に携わる者には国際的な視野を持ちながら、地域の林業界全体を俯瞰する能力が求められるっていくものと思います。

本校においては、まずは林業の基本的な知識と安全対策を十分に講じた現場の技術の習得を目指していきたいと考えています。その上で、共同生活を通じて、他者の意見を傾聴する力やそれらを取りまとめる力を養い、変化する社会の要請に対応し得る技術者の養成に努めていきたいと思っています。

人生の多感な時期を木曾で過ごす若者達には、地域の営みに積極的に関わり、豊かな自然と歴史に触れ、自らの人生を切り開く力を養ってほしいと考えています。

最後になりましたが、各界でご活躍の卒業生の皆様、卒業生を受け入れてくださいました行政、企業、諸団体の皆様、そして森林・林業に関係される多くの皆様には、本校の運営に對しまして、今後とも変わらぬご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、新任のご挨拶といたします。

なつとく!

# 森林経営管理制度

その1

「新たな森林管理システムである「森林経営管理制度」などの疑問に森林経営管理支援センターがお答えします」

**Q** 森林経営管理制度の長野県の取組を教えてください。

**A** 森林の持つ地球温暖化防止や災害防止、水源涵養等の公益的機能は国民に広く恩恵を与えるものであり、適切な森林の整備は国土の保全、国民の生命を守ることに繋がります。しかし現状では森林所有者の経営意欲の低下や所有者不明森林の増加、担い手不足等が大きな課題となっています。このような中、パリ協定の枠組みの下におけるわが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るため、森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から、国において森林環境税及び森林環境譲与税が創設されました。

森林環境税及び森林環境譲与税の創設と併せて、森林所有者による経営管理が難しい民有林において、市町村が森林所有者の委託を受け経営管理することや、意欲と能力のある林業経営者に再委託することにより、林業経営の効率化と森林管理の適正化を図る新たな森林管理システムがスタートしました。

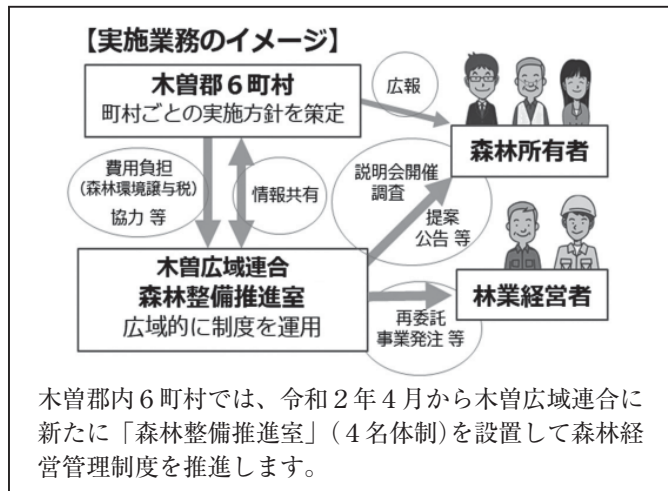
一方で、県内の多くの市町村では専門的な人材が不足しているこ

とから、県では森林経営管理制度のスタートにあわせ平成三十一年四月に林務部内に森林経営管理支援センターを設置するとともに、各地域振興局に支援員を配置し、地域振興局単位での市町村の広域連携体制の構築を支援しています。

この結果、木曾地域の六町村が連携して、木曾広域連合に森林整備推進室を設置し、森林所有者への働きかけや森林整備事業の発注などの業務を担う取組が全国で初めてスタートしました。引き続き、各地域の実情に応じた連携体制の構築や森林経営管理制度の円滑な運営に向け市町村に対する支援を強化してまいります。

森林経営管理制度に関するお問合せは  
 長野県林務部森林政策課森林経営管理支援センター  
 電話 0260-2655-7264(直通)  
 E-mail: shinrin-kanri@pref.nagano.lg.jp

【森林政策課】



木曾郡内6町村では、令和2年4月から木曾広域連合に新たに「森林整備推進室」(4名体制)を設置して森林経営管理制度を推進します。

## 長野庁中部森林管理局

### 令和二年度の取組のポイント



長野県内の国有林は、県土面積百三十六万haのうち二十七％(三十七万ha)を占めており、このうち人工林面積は二十七％(十万ha)です。県内の国有林は五十年生程度の森林が主体となっており、健全な森林の育成や地球温暖化防止のため、間伐などの森林整備を推進しています。また、資源の成熟により主伐が増加するとともに、高齢級の森林については高品質なブランド材を供給しています。

加えて、木材利用を進めることで、森林の持つ多面的機能の発揮を通じて地球温暖化の防止や地域経済の活性化に資することから、政府の方針に基づき、庁舎の新築、改築、内装やオフィス家具等で地域の木材を積極的に利用しています。

五月上旬現在、新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言が県内においても発令されている状況ではありますが、国民の皆様からお預かりしている国有林野の公益的機能の発揮とともに、地域の雇用への支えの観点からも、計画的な事業の発注が求められています。中部森林管理局としては、感染症対策を徹底しつつ、事業の円滑な実施を最優先に行う体制にシフトし、業務を継続してまいります。

### 【令和二年度の主要事業量】

令和二年度の県内の国有林における新植植付面積は二百二ha(前年度当初計画量・百六十九ha)、間伐面積は二千三百六十四ha(同・二千七百五十六ha)を計画しています。収穫量は、主伐が十四万九千㎡(同・十二万㎡)、間伐が三十九万㎡(同・三十八万五千方㎡)を計画しています。

林道の新設は総延長六・六km(同・四・〇km)、治山事業は溪間工が七十一基(同三十二基)、山腹工が三十三ha(同・二十三ha)、地すべり防止工が百九十六ha(同・百七十八ha)を計画しています。

### 【令和二年度の取組のポイント】

#### ◇多様な森林への誘導◇

人工林を伐採する際に自然に生育している広葉樹を残すことで、様々な生育段階や樹種で構成される針広混交林に誘導し、森林の持つ公益的機能の一層の発揮を目指します。

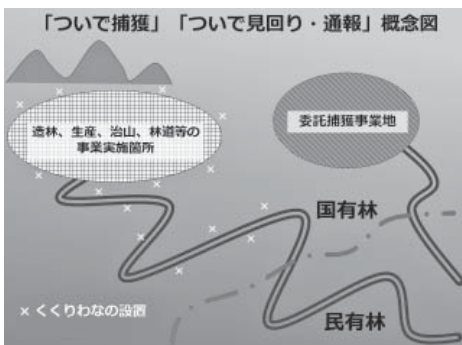
#### ◇安全・安心への貢献◇

令和元年東日本台風(台風第十九号)により被災した森林の緊急的な整備を実施します。また、「国土強靱化緊急森林対策」への取組として、集中豪雨等に対する山地防災力を高めるため、治山施設の設定等による荒廃山地の復旧・予防対策、流木対策を集中的に実施します。

令和元年東日本台風においては、長野県とも連携しながら、台風通過後のヘリコプターによる調査をはじめ被害状況の把握に努めるとともに、災害復旧計画を作成しました。今後も、大規模な山地災害が発生した際は、国有林の有無にかかわらず、県や市町村等と合同でのヘリコプターによる調査や森林土木技術者の派遣等により、被災地の早期復旧に向けた支援を行います。

#### ◇ニホンジカ被害対策◇

生息範囲の広域化や捕獲従事者の減少により、管内のニホンジカによる農林業被害は深刻化しています。平成



「ついて見回り・通報」「ついて捕獲」概念図



ヘリコプターによる被災状況調査 (令和元年東日本台風)

三十年度の県内のニホンジカによる農林業被害額は二億六千万円と、依然として高い水準で推移しています。中部森林管理局としましては、防護柵を設置する守りの取組だけでなく、くくりワナの貸し出しや猟友会への委託捕獲など攻めの取組により、令和元年度は約四千九百頭を捕獲しています。また、平成三十年度より実施してきた国有林内の請負事業地周辺や通勤経路において請負事業者と猟友会が連携した「ついで見回り・通報」「ついで捕獲」について、二年間の試行結果を踏まえ今年度より本格実施し、地域ぐるみのニホンジカ対策を推進します。

・ワナ捕獲遠距離通報システムなど、ICTを活用したワナ見回りの効率化に取り組みます。

◆徹底的なコスト縮減と生産性向上◆

・木材の伐採から搬出までの一連の工程のうち、どこがボトルネックとなっているかを分析し改善を図る「生産性向上実現プログラム」について、平成二十七年から取り組んできた成果を管内の林業事業体に普及し、素材生産能力の高い事業者の育成に取り組みます。

・伐採から造林までを一体的に行う伐採・造林一貫作業システムや、主伐時に発生するD材の木質バイオマス発電所への販売、機械地拵えにより、造林にかかるコストの縮減に取り組みます。

・ドローン、地上型レーザースキャナ、デジタルレーザークンパス、デジカメ検知システムといった新たな機器を試行的に活用し、事業実施に必要な各種調査の効率化を推進します。



「生産性向上実現プログラム」現地検討会  
(木曽森林管理署管内)

◆木材の安定供給とブンド材の推進◆

・高齢級で高品質な人工林ヒノキを「**高国**木曾ひのき」として、また

長野県等と連携して「信州プレミアムカラマツ」を積極的に供給します。

・公共建築物や寺社仏閣など住宅以外の建築に必要な特殊な寸法や品質の木材を円滑に供給するため、木材市場を通じて広く情報を収集し、需要に応じた円滑な供給を行います。

◆民有林と連携した取組◆

・昨年度より始まった「森林経営管理制度」の推進に向け、市町村で活躍できる「意欲と能力のある林業経営者」の育成に取り組みます。森林施業共同団地の設定や民有林材との協調出荷、現地検討会の開催等による民有林関係者への技術の普及や、自治体への助言等に取り組みます。

・管内の国有林の一定区域において、公益的機能を確保しつつ、一定期間・安定的に樹木を採取できる権利を「意欲と能力のある林業経営者」に設定する「樹木採取権制度」の実施に取り組みます。



デザインコンペ展示会  
(MIDORI長野りんごのひろば)

◆国民参加の森林づくり◆

・天皇陛下御即位記念慶祝行事の一環である分収造林契約による森林づくり等に、企業やNPO等と取り組みます。

◆レクリエーションの森◆

・「国有林おさんぽMAP」の活用等により、国有林を通じた地域の観光振興に取り組みます。

【令和二年度中部森林管理局の取組】詳しくはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/chubu/policy/business/sigoto/outline/index.html>



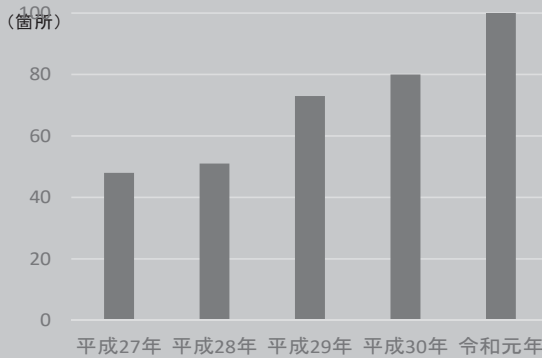


# 山地災害に備える

**山地災害防止  
キャンペーン  
5月20日～6月30日**

山地災害が多いのは、これから始まる梅雨の季節です。そこで、国、都道府県、市町村では毎年5月20日～6月30日に山地災害防止キャンペーンを全国的に展開し、山地災害危険地区の周知やパトロール、山地災害に備える広報活動、防災訓練などを行っています。

県内の過去5年間による  
山地災害発生件数



山地災害から住民の皆さんの生活を守るためには、日頃から地域の危険な箇所を把握し、点検することが重要です。そこでボランティアとして活躍されているのが、山地防災ヘルパーの皆さんです。治山施設の点検などを通じて地域の安全な暮らしの確保に貢献しています。



- 森林政策課 西沢 弘喜
- 森林政策課長 重野 靖
- 企画幹 小澤 岳弘
- 企画幹 倉本 栄
- 主任専門指導員 飯田 浩史
- 信州の木活用課 飯田 浩史
- 信州の木活用課長 飯田 浩史
- 森林づくり推進課 飯田 浩史
- 森林づくり推進課長 三澤 雅孝
- 森林づくり推進課 三澤 雅孝
- 鳥獣対策・シビ工振興室 小泉 寛
- 企画幹兼課長補佐兼鳥獣保護管理係長 小泉 寛
- 林業総合センター 降旗 康直
- 管理部長 田中裕二郎
- 育林部長 丸山 勝規
- 林業大学校 丸山 勝規
- 校長 丸山 勝規
- 林業公社 小池 一成
- 森林整備課長 小池 一成
- 佐久地域振興局 工藤 和彦
- 林務課長 工藤 和彦
- 副参事兼課長補佐兼普及係長 武田 佳治
- 諏訪地域振興局 小原 利徹
- 林務課長 小原 利徹
- 企画幹兼治山林道係長 中島 利樹
- 上伊那地域振興局 森口 勝也
- 副参事兼課長補佐兼治山林道係長 森口 勝也
- 南信州地域振興局 秋山 巖
- 林務課長 秋山 巖
- 松本地域振興局 千代 登
- 林務課長 千代 登
- 木曾地域振興局 稲村 昌弘
- 企画幹兼課長補佐兼林務係長 稲村 昌弘
- 長野地域振興局 志水 良一
- 企画幹兼治山林道係長 志水 良一
- 北信地域振興局 森 一雄
- 企画幹兼課長補佐兼林務係長 森 一雄

No.363号の「長野県林務部(課長級以上)」の記載に漏れがありました。お詫びして訂正いたします。

## お詫びと訂正



表1 森林組合の概要(組織)

年度(平成)	組合数	執行体制			組合員数(人)	組合員所有面積(ha)	150日以上出役技能職員数(人)
		役員数(人)	うち常勤(人)	職員数(人)			
元	59	1,038	25	344	94,722	526,240	1,121
5	54	995	28	346	93,728	520,382	910
10	40	729	21	351	91,889	511,100	823
15	25	508	14	294	89,521	483,695	708
16	24	489	13	278	88,922	482,146	667
17	24	468	14	258	88,670	482,361	635
18	18	361	16	243	88,356	475,900	557
19	18	321	14	250	88,064	476,007	567
20	18	305	13	252	87,825	483,663	572
21	18	299	15	259	87,570	483,041	576
22	18	305	11	265	87,342	467,714	605
23	18	302	9	261	87,088	460,973	657
24	18	300	12	264	86,886	471,912	662
25	18	292	14	272	86,520	472,069	611
26	18	294	15	272	86,043	471,792	591
27	18	293	11	286	85,533	469,830	600
28	18	301	15	273	85,069	452,925	597
29	18	293	16	259	84,547	451,136	578
30	18	289	16	257	84,000	447,690	564

※森林組合総会・総代会資料による(県森連調べ)

# 統計からみる森林組合 — 森林組合の組織編 —

### 長野県内の森林組合数・役員数・職員数の推移

長野県の森林組合の概要(長野県森林組合連合会調べ)によると、県内の森林組合数は、平成元年には59組合ありましたが、徐々に解散や合併が行われ、平成18年には現在の18組合になりました(表1)。

### 減少を続ける森林組合員

一方で、長野県の森林組合員数は、平成18年以降も緩やかに減少を続けています。平成18年から平成30年までの13年間で、組合員は4,356人減少しました。年度によって減少率に偏りはありませんが、単純計算すると、年々355人ずつ減少していることとなります。組合員所有面積も、概ね組合員数と同じように減少しています(図2)。

います。平成18年以降は、役員・職員・150日以上出役技能職員ともに人数の大きな変化は見られません(図1)。

県内の森林組合数と役員数は概ね同じように推移している一方で、森林

## 今後予想される問題点は?

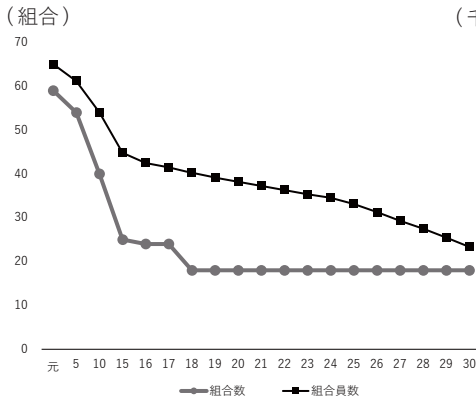


図2 森林組合数と森林組合員数

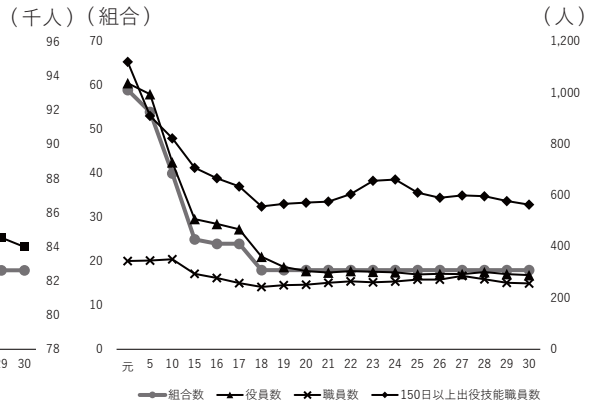


図1 森林組合数と役員職員数

## 県森連からのお知らせ

組合員数は森林組合数に関係なく減少を続けています。昨今組合員の組合離れが叫ばれているところですが、このまま組合員数が減少していくと、総代の選出が難しくなったり、組合役員の数確保が今まで以上に厳しくなる組合が増えることも予想されます。

組合員の減少に歯止めをかけるために、組織としては組合員が魅力を感じるような組合づくり、利用価値があると感じてもらえるような組合づくりに取り組んでいくことが必要になると考えられます。また一方で、現行の制度の見直しを検討することも必要になると考えられます。

例えば、現行の森林組合法では組合員が80人以上の場合には総代定数が200人以上と定められており、組合員が1千人の組合も1万人の組合も同数の総代を選出しなければなりません。組合離れを進行させないように努めることや合併など組織の在り方を見直すことも当然重要なことですが、実際に組合員が減少している中で、組合と組合員に負担にならないような制度が必要なのではないでしょうか。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、県森連では交代勤務等の措置を取らせていただくことが考えられます。何卒ご理解とご協力をお願い致します。

# 長野県の木材市況

令和二年五月十日発行 長野の林業通巻三六四号

発行 長野の林業編集委員会  
長野市岡田町長野県林業センター内  
電話〇二六(二二七)五〇二五  
Eメール Nagarin-center1@qa3.so-net.ne.jp

電話〇二六(二二七)五〇二五  
Eメール rinfukyo@giga.ocn.ne.jp

## 第1038回 市況表

(令和2年4月15日実施)

長野県森林組合連合会 伊那木材センター



Tel 0265-72-2684 Fax 0265-76-8759

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
ひのき	3.0	直	14~16	13,500	13,000	3mに造材される方はご相談下さい。
		直	18~22	14,500	14,500	
		直	24~30	15,000	11,000	
すざき	4.0	直	14~16	13,500	9,000	直造材でお願いします。
		直	18~22	18,000	12,500	
		直	24~28	19,000	11,000	
すざき	3.0	直	14~16	10,000	8,000	並材価格低迷。必要なし。伐採予定の方ご相談下さい。
		直	18~22	7,500	5,000	
		直	18~22	12,000	8,000	
すざき	4.0	直	24~28	13,000	8,000	
		直	24~28	13,000	8,000	
		直	30上	14,000	9,000	
もみ	4.0	直	18上	12,000	7,000	安定的な需要あり。
くるみ	4.0	直	38	36,900		良材高値。
なら	3.0~4.0	込	30上	15,000	10,000	安定的な需要あり。
	4.0	込	14~18	12,000	9,000	
くり	4.0	直	18~22	27,000	15,000	太物、良材に高値。
		直	26~38	35,000	20,000	
なつめ	1.6	直	10~13	36,000		
うるし	3.8	直	40	30,000		
えんじゆ	1.6	直	48	30,000		一本単価
からまつ	4.0	込	20上	16,500	12,000	価格横ばい。

出品量 1,250㎡ 販売量 1,248㎡ 落札率 99.8% 買い方 32社

出品にご協力いただきありがとうございました。コロナウイルス感染の拡大の影響もあり木材の需要が伸び悩んでおります。しかし、ひのき、広葉樹ともに太物良材には応札数も多く、高値が付く傾向です。尚、出材には合法認定業者の登録をお願いするとともに出材時にはその都度、合法認定番号及び伐採地と伐採箇所を詳しく記載した納品書及び伐採届の提出をお願いします。  
\*安全のため荷下ろし、積込みの際には車止め、またヘルメットの着用をよろしくをお願いします。

## 第1040回 市況表

(令和2年4月16日実施)

長野県森林組合連合会 中信木材センター



Tel 0263-77-2347 Fax 0263-77-2349

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すざき	3.0	直	16~18	11,000	9,000	30m×16~22cm柱取り引合いあります。20cm上は4.0m造材して下さい。ただし4.0m材供給過多となっておりますので伐採控えてください。
		直	20~28	12,000	9,000	
ひのき	4.0	直	30上	13,000	9,000	大径材に高値。
		直	20上	18,000	13,000	
ひのき	4.0	直	18~28	18,000	14,000	
		元	48~62	380,000	150,000	
からまつ	4.0	込	6~13	12,000	8,000	材不足しています。細物5cm~13cm引合い強し。ご購入お願いします。
		直	14~18	14,000	12,000	
		直	20上	18,000	14,000	
		曲	14~18	13,500	12,000	
からまつ	5.0	直	20~40	14,000	13,000	
		直	36~42	30,000	16,000	
あがまつ	4.0	込	26~56	10,000	6,000	価格下がる。
		込	24~30	20,000	12,000	
くるみ	4.0	込	20~40	38,000	20,000	
くり	3.0~6.0	込	14~40	55,000	25,000	応札活発。
		元	46	120,000		
なら	5.0~4.0	込	20~30	27,000	14,000	
くら	2.0~4.0	込	26~40	35,000	12,000	

出品量 5,321㎡ 販売量 4,774㎡ 落札率 89.7% 買い方 42社

今回の市売りは、新型コロナウイルス感染防止対策として、入札方法を一括入札で行いました。普段と違う方法をとりましたが広葉樹は応札活発で松の大径材には高値が付き内容として充実した市売りとなりました。ただ、杉材については需要が供給に追いついていない状況です。これから杉の伐採計画を検討中の方、センターにご相談ください。今後とも皆様のご協力お願いいたします。  
尚、当連合会は合法木材に取り組んでおります。  
合法木材供給事業者の認定を取得し、出荷時には合法的に伐採された木材であることのコメントと合法木材認定番号が記載された納品書の提出をお願いします。

## 第1072回 市況表

(令和2年4月15日実施)

長野県森林組合連合会 北信木材センター



Tel 026-295-5546 Fax 026-295-5547

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円/㎡)	中値(円/㎡)	備考
すざき	3.0	直	16~18	13,000	9,000	柱材需要あり。直造材でお願いします。
		直	20上	13,500	11,000	直造材でお願いします。
		込	8~13	5,500	4,500	需要あり。出品願います。
すざき	4.0	直	14~20	12,500	10,000	出品願います。
		直	22~28	13,000	12,000	
		直	30上	16,000	11,500	
からまつ	4.0	曲	14~18	8,000	5,500	
		曲	20上	10,000	8,000	
		込	6~13	11,000	6,000	
からまつ	4.0	直	14~18	12,500	9,000	出品願います。
		直	20上	16,000	14,000	需要あり。積極的に出品願います。
		曲	14~18	6,000	5,000	
くり	3.8		54	100,000		
くら	3.8		34	66,000		
きり	3.2		66	45,000		
げやき	7.2		64	103,000		一本単価

出品量 6,312㎡ 販売量 6,166㎡ 落札率 97.7% 買い方 50社

今回の市売りは、新型コロナウイルスの感染防止対策として、一括入札の上、落札発表を行う特別な方法での開催となりました。市況としまして、からまつについては依然として安定しており、需要がありますので、丁寧な造材を心がけていただき、ご購入願います。末口から大量にヤニの出た長尺材(5m・6m)は4.0m造材にシフトした方が良い単価になる傾向がみられます。  
スギについては、全国的な出荷量の増加により需給バランスがとれず、安値傾向がみられます。事業予定地でスギ材の現場があれば、センターへご一報頂きますよう、お願い致します。今回の広葉樹については、大径材や欠点の少ない材に高値が見られ、並材も応札数多く高値で推移しました。一方で、これからの時期の並材は買い手の買い控えにより、価格は値下がり傾向に推移することが考えられます。伐採、出品の予定がある方は事前のご相談をお願いいたします。  
今後、新型コロナウイルスによる木材流通、木材市況への影響が多分に出る可能性があります。早期に終息することを願っております。  
【お願い】合法認定事業者の登録をお願いするとともに、出荷時にはその都度必ず「合法認定番号及び「合法木材である」コメントを記載した内容の」納品書の提出をお願いします。

## 第522回 木材共販市況表

(令和2年4月23日実施)



出品量 1,000㎡ 買い方 12社 落札率 98.0% 飯伊森林組合木材共販所

樹種	長さ(m)	規格	末口(cm)	高値(円)	平均値(円)	平均石値(円)	備考
ひのき	3.0	直	14	9,000	7,000	1,960	
		元直	16	12,500	8,000	2,240	
		込	18~24	17,500	16,500	4,620	
		込	26~28	16,500	15,000	4,200	
		込	30上	22,500	15,000	4,200	
		中込	16~22	15,000	13,000	3,640	
すざき	4.0	込	24~28	15,000	13,000	3,640	
		込	30上	20,200	15,000	4,200	
		元直	16~22	18,500	16,500	4,620	
		元	24~28	22,000	18,500	5,180	
		直	30上	33,000	28,500	7,980	
		中直	12~14	13,500	8,000	2,240	
からまつ	4.0	込	16~22	18,500	15,000	4,200	
		込	24~28	16,000	14,000	3,920	
		直	12下	360	300		
		直	18~22	10,500	8,000	2,240	
		直	24~32	10,000	7,500	2,100	
		込	16~18	8,500	7,500	2,100	
すざき	4.0	込直	20~22	9,500	8,800	2,464	
		込直	24~28	10,500	10,500	2,940	
		直	30上	12,500	13,000	3,640	
からまつ	3.0	込	14~22	7,500	5,500	1,540	
		込	12~14	6,500	5,000	1,400	
		込	16	8,500	6,000	1,680	
		込	18~28	12,500	11,500	3,220	
		直	30上	13,000	12,000	3,360	
		小曲り	14~30	5,000	4,000	1,120	
くら	3.0		44	92,300	0	0	一本売り
くり	4.0		38	33,800	0	0	

総評

ひのき良材少なく価格やや下げ。全体に動き鈍い。  
すざき、出荷量少なく価格はやや下げ。  
からまつ出荷少なく、引き合いも鈍い。価格はやや下げ。  
コロナウイルスの影響で材全体の動きは鈍く、入札参加者も少なく低調。引き続き出荷の協力をよろしくお願いいたします。